



令和元年度の実績に係る キャンパス経営力評価ヒアリング

飯田キャンパス

飯田キャンパス長 上野 義之

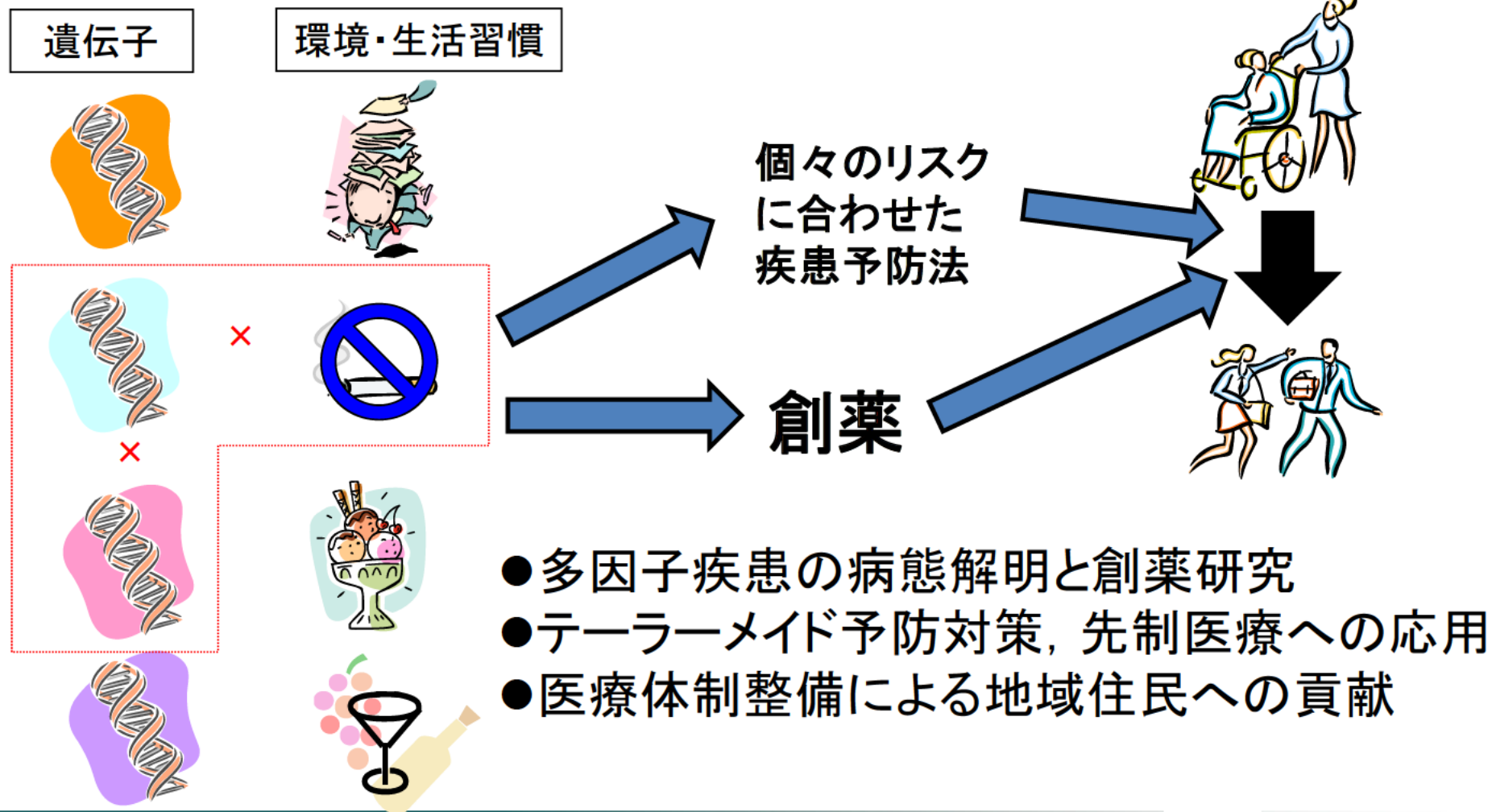
年度目標① 山形県コホート研究関連論文数35編以上を目指すとともに、これまでの研究成果を基に科研費の新規採択率20%以上を目指す。あわせてゲノム解析に必要な検体保存(バイオバンキング)の同意率70%を目指す。

達成状況① 山形県コホート研究の関連論文41編を発表した。科研費の新規採択率は18.6%であった。山形バイオバンクの患者同意率は73%であった。

- ①山形県コホート研究の関連論文41編を発表した。主な内容は、生活習慣、心血管疾患、眼科疾患、歯科疾患との関連である。(平成30年度:31編)
- ②研究成果を基に新たに採択された科研費は34件で、採択率は、18.6%である。(平成30年度:採択43件、採択率20.9%)
- ③山形バイオバンクへの患者同意は8,004件となり、新患に占める同意率は73%であった。(平成30年度:同意数3,991件、同意率74.5%)



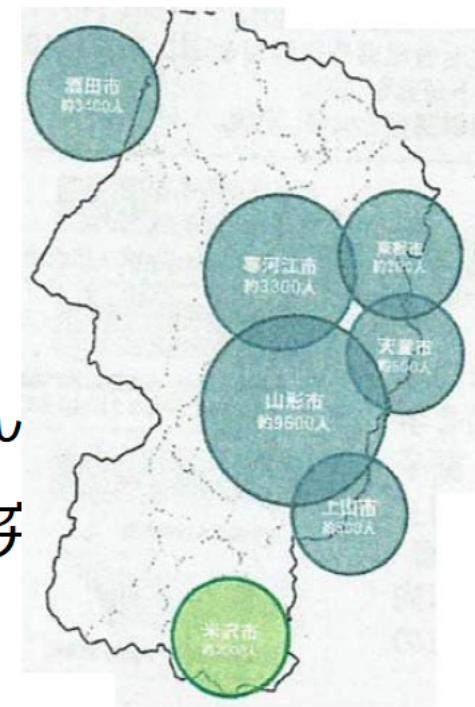
山形県広域ゲノムコホート(山形県コホート研究)形成の基本戦略と期待される成果



山形県コホート研究

目標：生活習慣病につながる体質と生活習慣の組み合わせを明らかにし，個人にあった健康増進・病気の予防法を提案する

- 山形県内の特定健診受診者2万人が参加
- 体質，生活習慣，健診データを分析
- 様々な診療科と協力して，生活習慣病，がん，脳卒中，心臓病，認知症の発症のしくみを研究



年度目標② イオン源, シンクロトロンを完成させ, 動作検証を終了する。
照射ビームの性能試験を開始する。また, 重粒子の優れた点を広く知ってもらうため, 市民や医療関係者に対し積極的に広報活動(講演会等20回)を行う。

達成状況② ・イオン源, シンクロトロンが完成し動作試験を終了した。照射ビームの性能試験を開始した。
・市民や医療関係者に対する広報活動を積極的に実施した。

完成したシンクロトロン



回転ガントリー治療室(世界3台目)



仙台市民公開講座



広報活動)パンフレットの発行, 広報紙の発刊(2回)

山形大学病院ニュース東日本重粒子センター特集 地元新聞紙広告(2回)

新聞・雑誌等の記事掲載(延べ31回) テレビニュース等の放送(16回)

山形大学案内への掲載 診療開始案内(東北地区のがん拠点病院等82病院(2回)

講演会(12回・延べ約1,570人) 施設見学セミナー(22回・延べ850人)



山形大学
Yamagata University

年度目標③ 大学院入学者増について、学際的な学生を集め、定員充足率100%を目指す。

達成状況③ 1) 令和2年度大学院入学者充足率

・博士前期課程45.5%，博士課程・博士後期課程90.9%

2) 学際的な学生の入学(医学部出身者以外の入学)

・理学部卒1名(先進前期)・教育学部卒1名(先進前期)

・歯学部卒1名(医学専攻)・薬学部卒 1名(先進後期)

博士前期課程					博士課程・博士後期課程				
専攻別	定員	入学者	不足数	充足率	専攻別	定員	入学者	不足数	充足率
先進的医科学専攻	6	2	4	33.3%	医学専攻	26	25	1	96.2%
看護学専攻	16	8	8	50.0%	先進的医科学専攻	4	4	0	100.0%
計	22	10	12	45.5%	看護学専攻	3	1	2	33.3%
					計	33	30	3	90.9%



〔令和元年度の主な取り組み内容〕

- ・幅広い分野の学生を受け入れるため、本学の理工学研究科(工学系)や農学研究科の入試日程を考慮した上で、入試日程を設定。
- ・看護学専攻の説明会を学内外にて実施。先進的医科学専攻は、本学農学研究科及び理工学研究科の説明会に出向き説明。

〔今後の取り組み〕

- ・7月に秋季(10月)入学者選抜試験を実施し、引き続き各種広報活動を行い定員充足に努める。
- ・令和2年10月入学者から、山形大学医学部附属病院に雇用されている医療職員及び本学部看護学科の学生で卒業後に同研究科に進学し、修了後に同院に就職を予定している者を対象としたスキルアップ研修制度を新たに設けた。本制度は、就労及び就労支援としての進学支援金(納付した入学料及び授業料の1/2)を本キャンパス予算から給付するものであり、本制度を利用した社会人入学者の増加が見込まれるものである。



年度目標④ 山形県内への医師定着数増加を目指し、卒後初期臨床研修はマッチング数が他の東北6大学を上回ること。また、専門医研修については本学部プログラム専攻医が平成30年度実績（44名）を上回る45名を目標とする。

達成状況④ 卒後初期臨床研修のマッチング数は、23名と昨年に続き東北7大学中2番目に多く、また、専門医研修の本院プログラム専攻医登録数は46名を確保し目標を上回った。

